

比較損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2006年3月期 自2005年4月 1日 至2006年3月31日	2005年3月期 自2004年4月 1日 至2005年3月31日	前期比
売上高	2,713,331	2,597,496	104%
売上原価	2,174,910	2,096,204	104
売上総利益	538,420	501,292	107
販売費及び一般管理費	537,365	506,986	106
営業利益(損失)	1,054	△ 5,694	-
営業外収益	98,121	87,863	112
(受取利息及び配当金)	(80,302)	(77,422)	(104)
(雑収益)	(17,819)	(10,441)	(171)
営業外費用	56,484	59,886	94
(支払利息)	(10,484)	(11,007)	(95)
(雑損失)	(46,000)	(48,878)	(94)
経常利益	42,691	22,282	192
特別利益	57,415	63,140	91
(関係会社株式売却益)	(27,148)	(41,874)	(65)
(投資有価証券売却益)	(18,618)	(11,895)	(157)
(不動産売却益)	(11,648)	(-)	(-)
(土地売却益)	(-)	(9,369)	(-)
特別損失	63,139	66,140	95
(関係会社株式及び出資金評価損)	(56,433)	(-)	(-)
(事業構造改善特別損失)	(3,829)	(46,258)	(8)
(減損損失)	(2,876)	(19,882)	(14)
税引前当期純利益	36,966	19,281	192
法人税、住民税及び事業税	△ 2,258	△ 6,961	32
法人税等調整額	2,220	15,898	14
当期純利益	37,005	10,344	358
前期繰越利益	37,221	37,348	100
中間配当金	18,321	18,138	101
当期未処分利益	55,905	29,554	189

(注) 1. 事業構造改善特別損失 3,829百万円は、関係会社の整理に伴う損失です。

2. 減損損失

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

用途	種類	場所
事業用資産	工具器具備品、ソフトウェア、その他の無形固定資産等	神奈川県秦野市、横浜市戸塚区等

(2) 減損損失を認識するに至った経緯

製品ポートフォリオの見直しや収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったため、減損損失を認識するものです。

(3) 減損損失の金額

機械装置	440百万円	工具器具備品	660百万円	ソフトウェア	602百万円
その他の無形固定資産	1,014百万円	その他	158百万円	合計	2,876百万円